

第一回ひのまる塾だより

平成29年

2月11日開催

新釈古事記伝の「袋背負い」の心に書かれている

稲羽の白兎を参加者の皆様と読みました。

感想

「お袋さん」が家族の苦勞などを背負っていること知り、私もそんなお袋さんになろうかと思いました。

最後の先生の解説が楽しかったので先生のお話をもっと聞きたいです。

道徳や古典について教わる機会が最近の子供には少ないように思います。また、日本人としての誇りや、他者への思いやり、家族を大切にすることなどを育める機会にしていただければと思います。

このような話に触れる機会はなかなかないので、きっかけとして良かったです。罪を犯しても、反省をして元通りに、そして更に行ける話だと思いました。手元にある古事記は本棚に飾ってあるだけでした。これを機会に取り出してみようと思います。



自分一人では、古事記を読んでも、考察をしたり、生活の話に置き換えて振り返ったりできなかったと思います。これから親として、より徳を考えた心掛けたいです。

音読も入り振りました。お話し楽しかったです。参加者同士の交流があってもよかったです。

適度な残酷さもある、今の童話より面白いかも。もっと読みたいと思いました。

アットホームで和やかな感じでした。

古事記は色々な話がつながっていることがわかり面白かったです。

子供の時に母に読んでもらいました。内容は忘れてしまいましたが懐かかったです。自分も

子供ができたから読んであげたいと思いました。

渡辺先生の解説を聞き、古事記の内容は日本人らしさのあるお話だと思いました。修身につながる部分もあるような。次回のひのまる塾も楽しみです。

〒113-0022 東京都文京区千駄木三丁目十二番九階
ひのまる塾
院長 渡邊 学
TEL:03-35809070